

視察にあたって、まちあるき中に着目すべきポイントや、帰ってきてからの景観を考えるポイントを景観アドバイザー石川氏から教えていただきました。みなさんも、まちあるきのポイントを考えながら身近なまちを歩いてみませんか。



石川 初 氏
慶應義塾大学大学院教授
調布市景観アドバイザー

① 景観を考えるには、共通言語が必要

景観やまちづくりの話し合いをする時は、「この場所が良い」「こんなふうになると良い」を共有できることが重要です。人に説明するにはどうしたらよいか考えたり、みんなで同じものを見て意見交換したりしてみましょう。



- 駅周辺で目に留まるものは？目立っているものは？
- 緑の高さ、種類、葉の色、繁り方・形は？
- 建物の色や形、高さは？
- 駅周辺にはどんな人がいる？何をしている？
- 屋外広告物の色や形、大きさ、量、種類は？
- 調布市内の駅とどんな共通点・違いがある？

② スケール（縮尺）を考えてみよう

現地を歩き回るだけでは、よく知っている場所とどのくらい規模に差があるかわからないかもしれません。航空写真などでスケール（縮尺）を比べてみて、広い視点からふりかえりをしてみましょう。



調布駅	狭山市駅	武蔵小金井駅

※航空写真上の赤線は、駅前広場のおおむねの大きさを示しています。写真出典：google map

0 50 100 150m

景観まちづくり市民検討会のご案内

調布市では、景観まちづくり市民検討会を開催し、市民のみなさんとの協働による景観まちづくりを進めています。令和2年度は、引き続き「駅周辺の景観」をテーマに検討を行っていきます。



市民検討会の参加者を募集しています！

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景だより

第49号
令和2年2月26日発行

本号のもくじ

- 〔第3回検討会〕駅の視察ツアーにでかけました
- まちあるきのポイント

駅の視察ツアーにでかけました

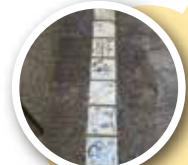
第3回景観まちづくり市民検討会では、駅周辺の景観づくりやまちづくりを行っている事例を見学するため、狭山市駅、武蔵小金井駅を視察しました。本号の景観だよりでは、視察の見どころポイントについてご紹介します。



狭山市駅

1 市民広場

市街地再開発事業にあわせて整備された広場です。高低差を活かし、見通しの良いなだらかな坂のようなデザインの広場で、七夕まつりの会場や、イベントなどに利用されています。



西口再開発の地区内から採取した土を10cm角のタイルにして、市内の子どもたちが中心に、好きな絵柄や模様、手形などをつけた『思い出タイル』が市民広場の各所に飾られています

2 狭山市駅西口・スカイテラス

地形や高低差を活かし、駅改札からつながる歩行者用デッキ（スカイテラス）、駅前広場、道路、駐車場などが整備されました。テラスからは、秩父連山の眺望が望めます。



駅前に自然眺望、公共施設、市民広場、交通拠点を設けた計画が評価を受け、数々の賞を受賞しています

- ・都市景観大賞優秀賞（2014年）
- ・グッドデザイン賞（2014年）
- ・土木学会デザイン賞奨励賞（2015年）

3 狭山市駅東口

駅舎の改築や東西自由通路の整備、駅前広場の整備が行われました。駅周辺は、土地区画整理事業により、道路や街区の整備が行われています。

4 狭山市市民交流センター

子育て支援センター、男女共同参画センター、公民館等を擁する複合公共施設で、市民活動や地域コミュニティの拠点として広く利用されています。



6 入間川七夕通り商店街

8月上旬には、狭山市駅西口市民広場から七夕通り商店街を中心に、関東三大七夕まつりのひとつ『入間川七夕まつり』が開催されています。



5 新都市機能ゾーン

戸建の低層住宅が建ち並ぶ地域です。駅周辺の整備の一環で、公有地と公共施設用地とを換地し、道路や公園、緑地などが整備されました。

駅 DATA

	狭山市駅	武蔵小金井駅	調布駅
路線	西武鉄道新宿線	JR 中央本線	京王線・京王相模原線
電車本数	約 250 本 / 日	約 520 本 / 日	約 750 本 / 日
乗降者数	約 4.2 万人 / 日	約 12.5 万人 / 日	約 13 万人 / 日
市人口	約 15 万人 (埼玉県狭山市)	約 12 万人 (小金井市)	約 23 万人 (調布市)

武蔵小金井駅

武蔵小金井駅南口市街地再開発事業

JR 中央本線の連続立体交差事業にあわせて、再開発事業を実施しました。駅前広場が整備され、ロータリーはバス発着の拠点として利用されています。

第1地区

交通広場、商業店舗、住宅、公共施設が整備され、コミュニティ広場（フェスティバルコート）は、イベントの会場や、市民の憩いの場として利用されています。

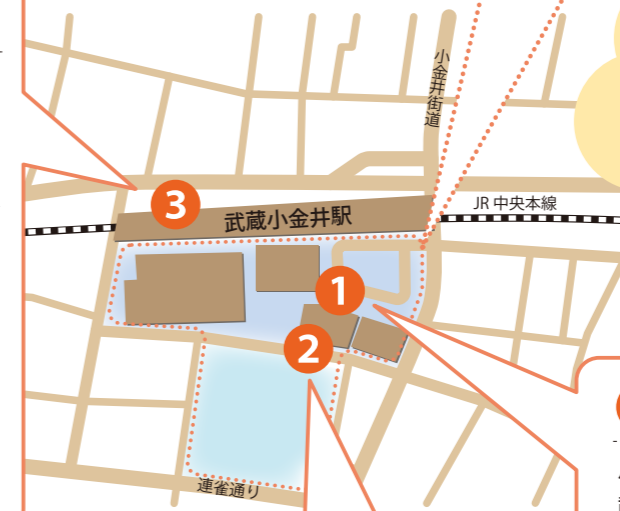
第2地区

商業店舗、住宅、子育て支援施設等の整備が予定されています。憩いのスペース等は第1地区と連続性を持たせて計画されており、さらなるにぎわいや利便性の向上が期待されます。



3 ムサコガーデン

駅の高架下を利用した空間には、JR の商業施設や、多摩野菜を扱ったマルシェなどがあり、来街者や買物客でにぎわっています。



再開発事業第2地区の愛称は『武蔵小金井シビッククロス』
令和2年度の開業に向けて、現在整備が進められています



1 ケヤキの保存看板

小金井公園のケヤキを市民活動により保存し、交通広場整備のシンボルとして移植しました。駅のロータリーには、移植について示した案内看板が設置されています。



2 宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）

再開発事業の一環で整備された市民交流センターには、ホール、ギャラリー、練習場などがあり、市民活動や文化芸術活動の拠点として利用されています。市と(株)宮地楽器商会在がネーミングライツパートナー協定を締結し、平成27年度からは「宮地楽器ホール」の愛称で親しまれています。

